

夏期特別展

江戸時代の時

和時計の魅力

令和三年

七月三十一日「土」

九月十二日「日」

ゆうこく
まてには
はたごへ

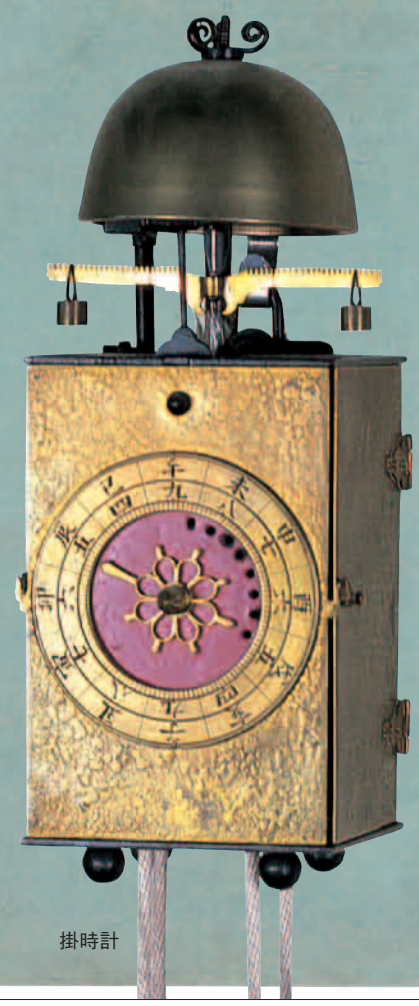


櫓時計(今井宝輪寺)

そろそろ
ゆうげの
したくを



ついで
おくれよ



掛時計

松本市時計博物館 [3階企画展示室]

【開館時間】 午前9時から午後5時 (入館は午後4時30分まで)

【休館日】 毎週月曜日 ※ただし8月16日(月)は臨時開館

【観覧料】 大人:310円 小・中学生:150円



廻る歯車が奏でる時の調べ、ここで無限の時に会う。

松本市立博物館分館

松本市時計博物館

〒390-0811 長野県松本市中央1丁目21番15号
TEL(0263)36-0969 FAX(0263)36-0973
URL <http://www.matsu-haku.com/>
E-mail tokei@city.matsumoto.lg.jp

夏期特別展

江戸時代の時 と和時計の魅力

江戸時代の日本では、季節によって時間の長さが変化する不定時法が用いられていました。そのため「和時計」は、きわめて特殊な機械時計として発達し、独自の機構を持つ世界でも珍しい時計といえます。

日本の時計師は、1台を製作するのに1年余の年月をかけて、独特な設計と手細工により、時計技術を発展させてきました。和時計は、機械工芸品として世界で高く評価されています。

フランスの和時計研究家のJ・D・ロバートソンは著書『日本の時計』で、現代の日本の精密工業の発展は、江戸時代の和時計技術者の伝統にルーツがあるとさえ述べています。

本展では、江戸時代の時に関する「暦」「時の鐘」も取り上げ、「和時計」の魅力を紹介します。江戸時代の人々の時間や季節の感覚に思いを馳せてみてください。



錦絵「春遊十二時 茜ノ刻(櫓時計に花魁)」
三代豊国



お籠時計



日時計



尺時計



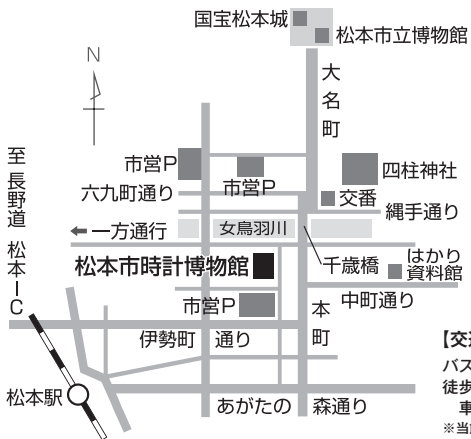
枕時計



印籠時計



台時計



【交通のご案内】

バス：タウンズニーカー東コース「大手門駐車場」下車
徒歩：JR松本駅より10分
車：長野道松本ICから約10分
※当館には駐車場がございません。周辺の駐車場をご利用ください。



廻る歯車が奏でる時の調べ、ここで無限の時に出会う。

松本市立博物館分館

松本市時計博物館

〒390-0811 長野県松本市中央1丁目21番15号
TEL (0263) 36-0969 FAX (0263) 36-0973
URL <http://www.matsu-haku.com/>
E-mail tokei@city.matsumoto.lg.jp